

セミナー II

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

塩谷 英一郎

1. 授業の概要(ねらい)

英語学は、英語を体系的に理解する上で大いに役に立つものです。英語の形、意味、歴史、日英対照、会話やテキストの構造分析などを通して、英語の仕組み、日本語との異同を理解して、英語の理解を深めていくものです。

この授業では、英語を理解する上で、中上級の英語にたっぷり接するとともに、ことばの仕組みに関する理論も学び、英語・日本語と両者の関係について、コツや本質を把握しながら、発表やディスカッションを通じて、理解を深めていきます。

1. ことばの意味の認知システムの理解を深める（意味論、認知言語学）
2. 文法の背後にある使用者の認識を理解する
3. 慣用句のシステムを理解する
4. ことばの使い方についての考察力を深める（語用論）
5. 英語と日本語の違いに関する知見を深める
6. 世界各地の社会や文化と英語の関係を探る

2. 授業の到達目標

授業で扱う内容をきちんと理解することを基盤として、その上に、英語および日本語との比較についての知識を時間の許す限り広げて、英語運用に活用することが到達目標です。

「語彙や文法の認知的システム」「慣用句の分析」「ことばの語用論的理解」「英語と日本語の違い」といった言語学的知見を理解し、説明できることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

授業参加が成績評価の基本です。毎回、様々な課題をこなしたり、個人発表では「調べて」「考察する」、その両方がどれくらいきちんと出来ているかが評価になります。授業参加60%、期末レポート40%。

4. 教科書・参考文献

教科書

平賀正子 ベーシック新しい英語学概論 ひつじ書房
東森勲 翻訳と語用論 開拓社

参考文献

長谷川 瑞穂（編集） はじめての英語学<改訂版> 研究社
井上 逸兵衛 グローバルコミュニケーションのための英語学概論 慶應義塾大学出版会
安藤 貞雄（編集）、澤田 治美（編集） 英語学入門 開拓社
今井隆夫 イメージで捉える感覚英文法―認知文法を参照した英語学習法 開拓社(アマゾン電子書籍あり)
野村益弘 ファンダメンタル認知言語学 ひつじ書房
鍋島 弘治朗 認知言語学の大冒険 開拓社
加藤 重広（編集）、澤田 淳（編集） はじめての語用論: 基礎から応用まで 研究社
尾野 治彦 「視点」の違いから見る 日英語の表現と文化の比較 開拓社
石田 プリシラ 言語学から見た日本語と英語の慣用句 開拓社(アマゾン電子書籍あり)
安藤邦男 ことわざから探る 英米人の知恵と考え方 開拓社

5. 準備学修の内容

英語のより深い理解、語彙や文法の理解、様々な英語情報の整理、各自の理解の整理。
毎回、自分の関心のあることを調べる。授業時は学生同士で意見交換をする。授業後にまとめる。

6. その他履修上の注意事項

毎回出席し、前の回に指定した事項をきちんと準備してくること。
「演習」の理解を確かなものにするために、「英語学 I」(また「英語学入門 I」)を履修することが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 politeness
- 【第3回】 発話行為
- 【第4回】 世界各地の社会構造と英語教育
- 【第5回】 社会・文化とコミュニケーションスタイル
- 【第6回】 関連性理論: 表意と推意
- 【第7回】 語彙の語用論、語彙の広がり
- 【第8回】 ことわざと翻訳
- 【第9回】 ジョークの分析
- 【第10回】 外来語(外行語)、借用語
- 【第11回】 ユーモア、言葉遊びなど
- 【第12回】 文化の違いと翻訳
- 【第13回】 翻訳の問題
- 【第14回】 世界の英語・再考
- 【第15回】 総括/期末レポートの中間報告